

地域情報通信技術利活用推進交付金交付決定団体名等

No	団体名	事業名称	事業の内容	交付決定額
1	長岡市	長岡市総合防災情報共有システム整備事業	市内外にいる住民に対して多様な手段で安心・安全情報を伝達して平常時の防災意識高揚と緊急時の情報収集・伝達力向上を図るため、長岡市コモンズを立ち上げ、他地域と連携を図ると共に情報入力手段となる防災情報共有システムを構築する。	59,000千円
2	三条市	安心安全すまいるネットワーク事業	誰でもいつでもどこでも活用できる防災標準システム「安心・安全公共モンス」を構築し、ゲームと教育を融合するために新たな学び「エデュテイメント」を創造し、「伝統技術・地域文化等の映像コンテンツ」の一元管理について整備する。各々異なる目的のシステムを共通の情報通信基盤を利用することにより効率性を高め相乗効果を図る。	42,000千円
3	連携主体 三条市及び燕市	燕三条ブランドポータルネットワーク事業	三条市・燕市の観光とビジネスの玄関口である燕三条駅並びに県央地産センターを情報発信拠点と位置付け、多種にわたる情報コンテンツの整備をすることにより、人と情報とがスキルや媒体を超えて、より密接にやり取りできる環境を構築する。	60,000千円
4	新発田市	健康づくりをテーマとした地域活性化	社団法人・民間活力開発機構が保有している温泉療養システムと温泉療養法医のネットワークを活用し、企業の健康保険組合にて特定医療診断を受けた人の健康改善のために、温泉での療養を推進する事業	13,000千円
5	佐渡市	携帯CGMシステムを組み込んだ観光ブログ構築事業	本事業は、佐渡市観光協会ホームページに、携帯CGMと連動した地域ブログ/SNSシステムを付加するものです。携帯CGMの具体的な機能は①動画投稿、②画像-GIS(地理情報システム)、③QRコードを用いた観光説明、です。	42,998千円
6	妙高市	地域安心センサーネットワークとWebプロモーション事業	ウェブカメラや降積雪量計、気温センサーなどを市内の豪雪地帯に効率的に配置し、市民への情報公開と、見守り力向上による冬期住環境改善と、Web動画のインターネット配信による通年における着地型観光を支援する。	44,930千円
7	王滝村	観光・環境ボランティアによる山村と都市の交流振興	観光ポータル機能強化、宿泊施設の予約システムの構築により、王滝村の観光基盤を整備し、王滝村、王滝村の特産品を対外的にアピールし、観光客の誘致、地域支援・振興型農業への転換を図るとともに、ボランティアポータルサイトにて環境問題への啓蒙とボランティアの誘致を図り、地域を活性化しつつ、森林保護を図る。	43,989千円
8	上伊那広域連合	ucodeを活用した行政情報連携基盤の導入・活用事業	上伊那地方8市町村の共同電算処理施設である上伊那情報センター(上伊那広域連合運営)に、ucodeを軸とした位置情報連携基盤を導入する。さらに、安全安心情報公開システム及び災害時要援護者システムを通じて、被災地情報の収集や災害時の情報提供、そして災害時要援護者の避難・救出活動の支援等、上伊那地域の安全安心の向上をはかる。	85,000千円
9	小谷村	小谷村防災・コミュニティ情報伝達システム構築事業	すでに整備されている各戸への光ケーブルを利用して各戸へ音声告知端末を設置し、全国瞬時警報・災害情報・異常気象情報等の緊急放送システムを構築する。	48,000千円
10	小谷村	「ユビキタスが守るライチョウのハビタット」自然保護と観光振興の両立をかなえるICT利活用事業	環境保全意識の啓蒙を図りつつ、小谷村への興味を高め、観光振興と自然環境保全の両立を実現するため、貴重な北アルプスの高山における自然環境情報を専門家が簡便にマルチメディアコンテンツでインターネットに広く配信することが可能となるよう新たな環境保全情報発信システムを構築します。	15,992千円
11	連携主体 駒ヶ根市、飯島町及び中川村	「ICT利活用の地域力が作る、市町村連携型ユビキタスタウンモデル」構築事業	地域の現状を踏まえたICT導入により、地域一体となった社会貢献と住みやすい社会環境を提供する市町村連携型ユビキタスタウンモデルの構築	74,000千円
12	長野県	県立病院間高画質診療支援ネットワーク構築事業	身近な県立病院で他病院の専門医の支援の下診療を受けられるなど、患者負担の軽減、安心の増加を図るため、県内の全県立5病院と信州大学医学部附属病院間を新たに開発する診療支援システム(Hiビジュアルのテレビ会議と医用画像システムを連携)で接続、診療支援、手術時支援機能および高いレベルな医療関係者教育環境を構築します。	36,876千円
13	長野県	長野県デジタルアーカイブ推進事業(信州デジくら)	情報基盤整備と併せて、情報発信できる人材育成を行うことで、文化、歴史、自然等県内の社会的資産を幅広く集積し、次世代に継承していくとともに、地域学習、福祉、観光等への活用を促進する。	23,000千円
14	信濃町	防災情報通信システム整備事業	全国瞬時警報システム(J-ALERT)の導入 緊急情報の告知・屋外放送施設34基 メール配信システムの導入。	46,000千円
15	飯田市	災害情報提供システム構築	同報系防災行政無線やオフブーク通信システム等の既存災害関連情報提供システムの音声情報をICT活用により一元的に制御し、新たにCATV網上に接続される音声告知端末への提供を行うことにより、更なる伝達機能の多ルート化が実現する。	18,000千円
16	飯田市	飯田下伊那診療情報連携システム	病院間や病診間で診療情報を共有化できるシステムを構築し、病院や診療所との連携・分担を進めることで地域医療を守る。地域内1患者1カルテにより、地域住民にとって安心・安全の医療が実現できる。	75,000千円
17	連携主体 飯田市、喬木村及び株式会社飯田ケーブルテレビ	南信州地域情報発信連携システム	定住自立圏域内の地域活動団体が「地域コミュニティサイト」を利用して交流、情報発信により、地域コミュニティの活性化や地域間の相互連携の強化を図る。また、地域コミュニティサイトから発信される情報や行政情報を、ケーブルテレビのデータ放送システムと連携して配信することにより、地域内の情報共有を図る。	51,000千円
18	小諸市	ユビキタスエデュテイメントシステム整備事業	教育現場でICTを活用することで楽しく学べ、知識を得るだけではなく「協調性」や「創造性」を身に着けるサポート教材となるとともに、ICT教育の地域への普及のきっかけとしてシステムを整備し運営事業を実施する。	60,000千円
19	佐久平尾山開発株式会社	昆虫・自然ユビキタス電子図鑑システムの構築科学と体験の融合、学習と観光の融合を実現するICT利活用事業	佐久市の第3セクターとして佐久地域の豊かな自然環境を活用した様々な自然体験等学習機会を提供していますが、観光で訪れる都市部の子供たちは、一過性の学習となることも多く、ICTの利活用で学習を継続的・立体的なものとしてできるようなユビキタス電子図鑑システムを構築し、事前事後の知識習得、来場時の体験学習支援を実現し、環境教育への寄与、リピーターの増加による観光振興を図ります。	26,998千円

※「事業名称」及び「事業の内容」は、各団体の交付申請書類から抜粋。(順不同)